

ガウジングトーチ AS型

取扱説明書

〔ご使用の際は、この説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。〕
〔その後は、大切に保存し必要なときに、お読み下さい。〕

ご使用の前に

1. エアホース接手を、コンプレッサーより出たエアホースに接続して下さい。
2. ガウジング溶接機の電源プラス側から取った電らんのターミナルを、ターミナル接手の端子部分に締め付け、ターミナルカバーで金属部分を絶縁して下さい。
3. ガウジング溶接機の電源マイナス側から取った電らんを、母材に接続して下さい。
4. 母材側ケーブルはできるだけ作業する箇所の近くに接続して下さい。

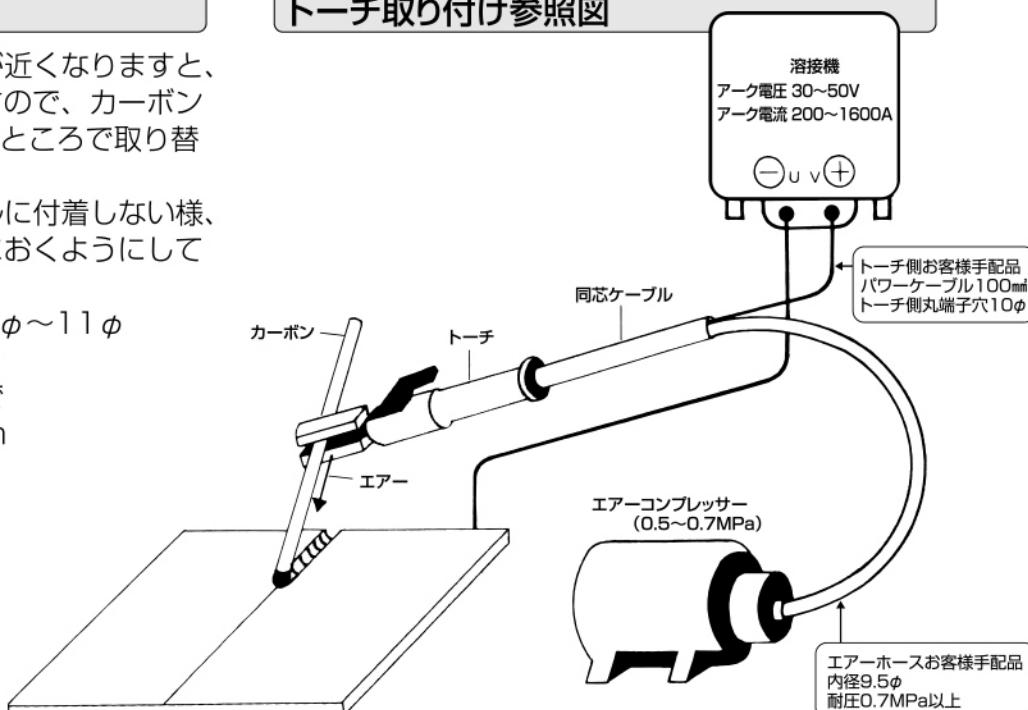
取扱方法

1. 押えレバーを押さえてヘッドのV型の溝に、カーボン電極の先端より15cmの位置で、抑えレバーを離して本体より狭圧せます。
2. コンプレッサーより圧縮空気を送り、ガウジング溶接機の電源スイッチを入れると作業できます。
3. バルブ棒を指で押すことにより、エアーを出したり、止めたりすることができます。
バルブ棒の操作が固くなったときは、適時にOリングの周囲にグリスを添付して下さい。
4. バルブ棒のOリングの取替とグリスを添付するときは、バルブキャップを、付属している馬蹄型ドライバーで外し、バルブ棒を取り出して下さい。
5. ケーブルに本体を取り付けるときは、持柄をケーブルに挿入し、ジョイナー付きケーブル接手と本体をスパンナで挟み、強く締め付けて接続して下さい。
6. トーチの持柄を取り外すときは、押さえレバーとバルブ棒を取り外してから持柄を抜いて下さい。

使用上のお願い

1. アークの部分とヘッドの位置が近くなりますと、トーチの損傷が激しくなりますので、カーボン電極棒はヘッドから7cm程度のところで取り替えて下さい。
2. 使用中は、溶融金属をケーブルに付着しない様、出来るだけ作業方向の反対側におくようにして下さい。
3. 使用カーボン電極棒種類は、4φ～11φ
使用空気圧は、0.5～0.7MPa
使用アーク電流は、700Aまで
空気流量は、0.6～0.8m³/min
でお願いします。
4. スプリング台保護の為、エアーコンプレッサーのドレン抜きを定期的に実施して下さい。

トーチ取り付け参考図



■安全上のご注意 必ずお守り下さい



警 告



◆絶縁手袋使用のこと

感電や火傷の恐れがありますので、皮製などの手袋を使用して下さい。
又、修理や部品交換の時は必ず電源を切って下さい。



注 意



◆換気、排気を十分に行うこと

大量の粉塵が、発生しますので、作業上の換気や排気を、十分に行って下さい。

◆目、耳用保護具着用のこと

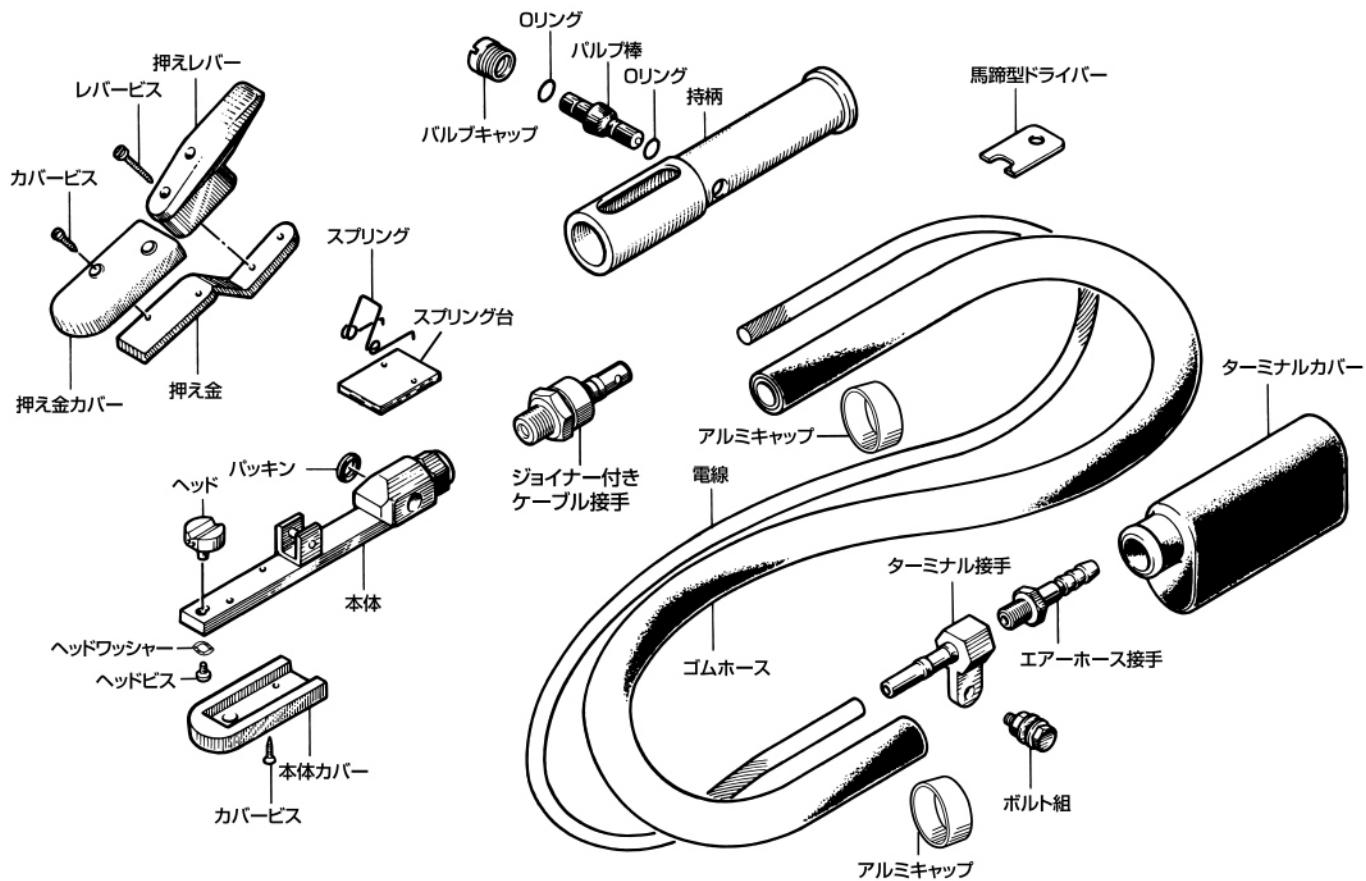
アーク光や騒音対策のために、遮光眼鏡や耳栓等の保護具を使用して下さい。

◆スパッタやガウジング直後の熱い母材は火災の原因になります。

◆可燃性ガスの近くではガウジング作業を実施しないで下さい。

◆エアホースの点検を始業前又は定期的に実施して下さい。

ガウジングトーチ構成図



H30.10

IBIDEN イビデンケミカル株式会社

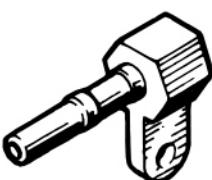
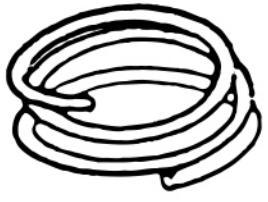
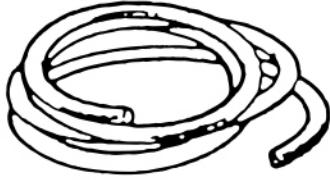
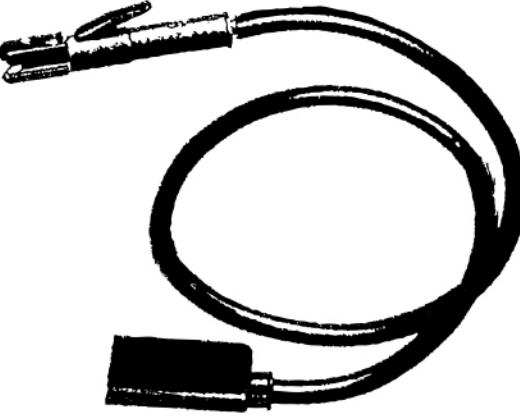
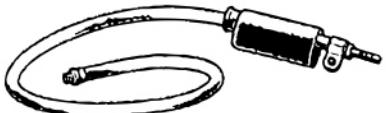
〒503-0931 岐阜県大垣市本今5丁目125-1 / TEL(0584) 71-9321 / FAX(0584) 71-9323

■使用部品について

本体側部品

1.押え金	2.本体(付属品 パッキン)	3.スプリング
4.スプリング台	5.バルブ棒 (付属品 Oリング2ヶ)	6.パッキン
7.Oリング	8.バルブキャップ	9.押え金カバー (付属品 カバービス2ヶ)
10.本体力カバー (付属品 カバービス2ヶ)	11.押えレバー (付属品 レバービス2ヶ)	12.持柄
13-1.ヘッド二つ穴・三つ穴 (付属品 ヘッドビス1ヶ)	20.馬蹄型ドライバー	23. 24-1. 24-2. レバービス ヘッドビス カバービス
13-2.丸角兼用ヘッド10mm・15mm (付属品 ヘッドビス1ヶ)	32.ヘッドワッシャー	

ケーブル側部品

15-2.ジョイナー付 ケーブル接手	16.ターミナル接手	17.ターミナルカバー
		
18.エアー ホース接手	19.ボルト組	27.電線
		
28.ゴムホース	29.パンチバンド	31.アルミキャップ
		
14.本体セット (付属品 馬蹄型ドライバー)	AS-700N	
		
26.ケーブルセット		
		

※部品発注時は、上記の番号と名称でお願いします。